

最上地区の県立高校再編整備計画＜第2次計画（骨子案）＞に係る意見募集の結果について

県教育委員会は令和2年3月の「最上地区の県立高校再編整備計画＜第2次計画（骨子案）＞」の公表後、地域説明会、意見募集、学校関係者や産業界などからの意見聴取を実施し、いただいた意見を参考にしながら検討を進め、この度、「最上地区の県立高校再編整備計画（第2次計画）」（以下、「第2次計画」という。）を策定しました。

1 意見の募集期間 令和2年3月17日（火）から6月16日（火）まで  
令和2年9月1日（火）から10月1日（木）まで

2 ご意見の件数 15件

3 寄せられた御意見の概要及び教育委員会の考え

番号	意見の概要	県教育委員会の考え
1	【新庄新高校(仮称)について】 ○ 地域説明会で述べた「最上地区外への生徒流出を防ぐ」ために、新庄新高校(仮称)についてどのような魅力化策を考えているのか。	○ 新庄新高校(仮称)には、単位制を導入し、生徒の進路目標に応じた少人数指導等により進学指導体制の強化を図り、学力向上を実現することを考えております。多様な学習ニーズに応えるコースや特色ある選択科目を開設し、難関大学進学から公務員等の就職まで幅広い進路希望の実現を図ります。さらには、地域課題の解決を図るような探究型学習などを推進し、最上地区の基幹校としての魅力を更に高めてまいります。
2	○ 新庄南高校のニーズが一定数ある中での統合となるが、統合校ではそのニーズにどのように応えていくのか。	
3	○ 新庄新A高校(仮称)は「進学中心の学校」になるのか、それとも「幅広い進路に対応する学校」になるのか。コース等の具体的なことはいつ決定されるのか。	○ 新庄新高校(仮称)については、令和3年度に、教育目標や内容等に関する教育基本計画策定委員会を設置し、学科・コース、教育目標、教育課程の特色、校舎整備等について検討します。令和4年度以降は、教育基本計画に基づき、教育課程の編成や校舎の改修等、開校に向けた具体的な準備作業を進めます。

4	<p><b>【商業科の在り方について】</b></p> <p>○ 「商業科」を設置するメリットが現在のA案、B案の説明内容からは浮かび上がってこない。商業科のメリットを最上地域の人材育成の視点で考えていく必要がある。</p>	<p>○ 新庄神室産業高校に既にある農業科と工業科に商業科が新設されることで、これまで以上に時代が求める産業教育の充実が図られます。また、農・工・商連携により生産や加工から流通、販売まで幅広く学習できる環境を整備し、起業家精神の育成を図るとともに、将来的に地域産業界・経済界の発展に寄与することが期待されます。</p>
5	<p>○ 実践的商業教育も大切だが、高い目標に向かって学習できる環境も大切である。</p>	
6	<p><b>【定時制について】</b></p> <p>○ 昼間定時制のメリットは分かるが、少数であっても夜間定時制のニーズに対応するため、昼間・夜間の二つの定時制を設置してほしい。</p>	<p>○ 夜間定時制については、従来の勤労青少年のための学校という色合いが薄れ、全日制課程からの転・入学者や不登校経験のある生徒など、多様な入学動機や学習歴を持つ生徒が増加しており、学び直しの学校という役割が拡大しております。このような役割の変化に加え、近年の夜間定時制の充足率の低下を踏まえると、夜間に授業を行う必要性は薄れてきており、昼間定時制という形態がニーズに合っていると考えております。最上地区への定時制の設置は生徒数等を考慮し1学級とせざるを得ないため、昼間定時制1学級の設置とするものです。</p>
7	<p><b>【外部との連携について】</b></p> <p>○ 東北農林専門職大学(仮称)設置を活かす視点も最上地区における高校の再編計画の中に位置づけられることを期待する。</p>	<p>○ 「第2次計画」においては、地域社会と連携した教育活動を展開することを示しており、特に新庄神室産業高校については、地域産業や専門職大学などとの連携を強化し、実践的な技術・技能を身に付け、地域社会と産業の発展に寄与する生徒を育成するとしております。具体的な教育内容については、今後設置する開校準備組織の中で検討してまいります。</p>
8	<p><b>【校舎整備について】</b></p> <p>○ 利便性や地域の活性化の観点から新庄新高校(仮称)は現在の新庄南高校の敷地・校舎を活用する方がよい。</p>	<p>○ 新庄北高校と新庄南高校の施設を比較しますと、新庄北高校の校舎は新庄新高校(仮称)の全学年の学級を受け入れる収容能力を有し、耐震性など建物の健全性においても問題ないことから、同校の校舎を使用することとしました。</p>

9	<p>○ 新庄新高校(仮称)の設置場所として、新庄北高校の敷地・校舎を活用することは現状では最良の選択であるが、町づくり等の観点から将来的には町中心部に設置してほしい。</p>	<p>○ ご意見につきましては、将来の検討課題として参考にさせていただきます。</p>
10	<p>○ 仮に新庄新A高校になる場合、現在の新庄北高校の校舎は全く改修しないのか。改修なしでは魅力が高まらない恐れがある。</p>	<p>○ 新庄新高校(仮称)の開校時には、既存施設の有効活用を念頭に、必要な改修の実施を予定しております。引き続き、教育環境の改善及び学校の魅力づくりに努めるとともに、長期的な施設の在り方については改めて検討してまいります。</p>
11	<p><b>【再編整備計画の進め方について】</b> ○ 再編整備計画の内容を丁寧に説明して行ってほしい。</p>	<p>○ 「第2次計画」の策定に至るまでは、令和元年10月～11月に最上地区4会場で地域説明会を開催し、最上地区の現状と課題、再編整備の経過と予定等について説明しました。そして、令和2年3月に、新庄市内高校の再編を柱とするA案・B案の二つの案を併記した最上地区の県立高校再編整備計画&lt;第2次計画(骨子案)&gt;を公表し、同年9月に前年に引き続き最上地区4会場で地域説明会を開催し、計画の内容や適正規模等について詳細に説明するとともに、質疑応答等を通して地域の方々の理解が深まるよう努めてきました。今後、計画を進めるにあたっては様々な機会をとらえて丁寧に説明してまいります。</p>
12	<p>○ 「4～8学級を適正規模」とする理由を、選択科目数や部活動数を示しながら丁寧に説明して行ってほしい。</p>	
13	<p>○ 最上地区だけでなく北村山地区での地域説明会の開催を希望する。</p>	<p>○ 高等学校の再編整備については、原則として生徒が自宅から通学できる範囲の中で様々なタイプの学校を選択できるよう配置していくことが必要と考えており、そのため、生徒の通学範囲や通学の実態なども踏まえながら、県内8地区ごとに検討していくことが適切であると考えております。再編整備の説明会は、時間的な制約もあって、原則として、多くの方の参加を期待できる学校が所在する市町村で実施しております。説明会に参加できなかった方については、意見募集(パブリック・コメント)等を通じて意見をお聞きする機会を設けたところです。</p>

14	○ 統合校に入学することとなる小学校高学年の児童・保護者にアンケート実施し、それを踏まえた学校づくりをお願いします。	○ 「第2次計画」を策定するまでは、地域説明会を最上地区の1市3町で開催し、意見募集(パブリック・コメント)を2期に分けて延べ4ヵ月間行うなど、保護者や地域の方々から広く意見を募ったところであり、今後教育目標等の具体的な検討を進めるにあたって必要な場合には、小中学校等から意見を伺うことも検討してまいります。
15	【その他】 ○ 既存の私立高校と県立高校との関係の整理も必要と考える。	○ 私立高校とは、毎年、山形県公私立高等学校協議会を開催し、意見交換を通じて各種調整を行っているところです。

#### 4 問い合わせ先

山形県教育庁高校教育課高校改革推進室 電話 023-630-2493

#### <公開資料>

- ・最上地区の県立高校再編整備計画（第2次計画）
- ・最上地区の県立高校再編整備計画（第2次計画）【概要版】

※ 資料の閲覧方法（次の方法で閲覧できます。）

- (1) 県のホームページ
- (2) 行政情報センターまたは各総合支庁総合案内窓口